

# KAYA Vision Point

## クイックガイド

### - 簡単ガイド編 -

問合せ先

株式会社アルゴ

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 1 丁目 2-4

新大阪第 5 ドイビル 7F

Mail : [argo@argocorp.com](mailto:argo@argocorp.com)

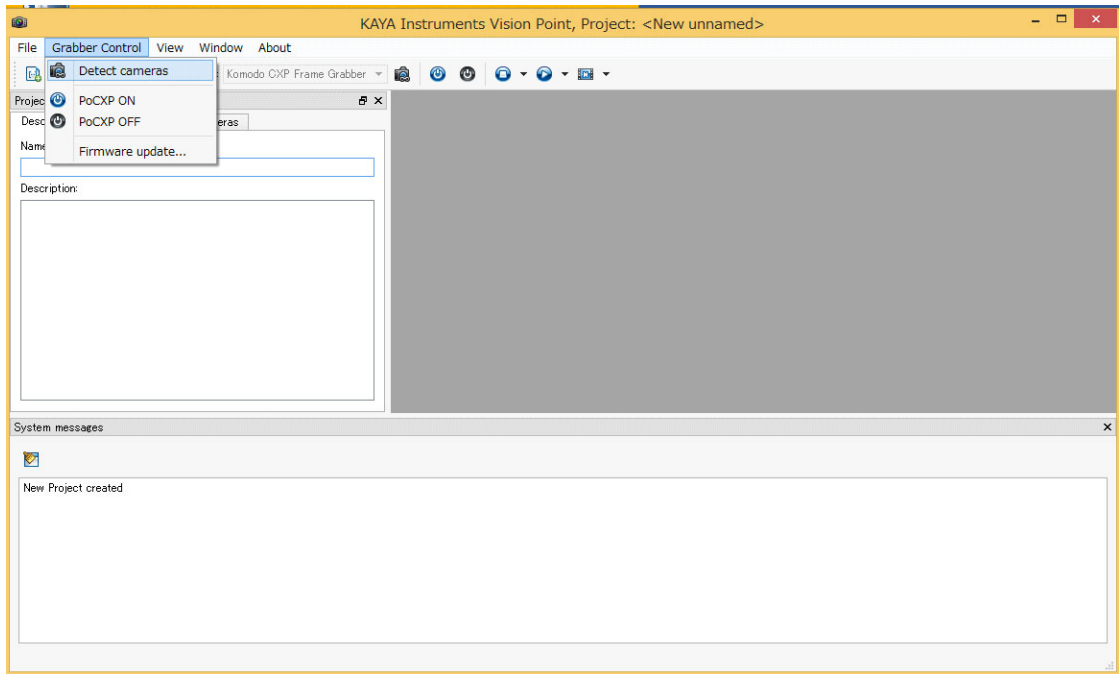
TEL : 06-6151-9283

# 接続とインストール

- ボードを PC へ接続します。
- ボードへは、PC からの電源を供給することで、PoCXP としてカメラを動作させることができます。PoCXP とは、CoaXPress ケーブル経由でカメラへ電源供給し、カメラに対して外部電源を別途接続する必要がない接続・運用方法です。
- ボードとケーブルを接続します。以下のように接続します。  
ボード⇔ケーブル  
0⇔1  
1⇔2  
2⇔3  
3⇔4
- PC にソフトウェアをインストールします。  
下記ダウンロードリンクより、ソフトウェア・ドキュメントをダウンロードしインストールしてください。  
  
(ダウンロードリンク)  
<https://www.argocorp.com/KAYA/>
- デスクトップに Vision Point というショートカットができていますのでそれをダブルクリックします。

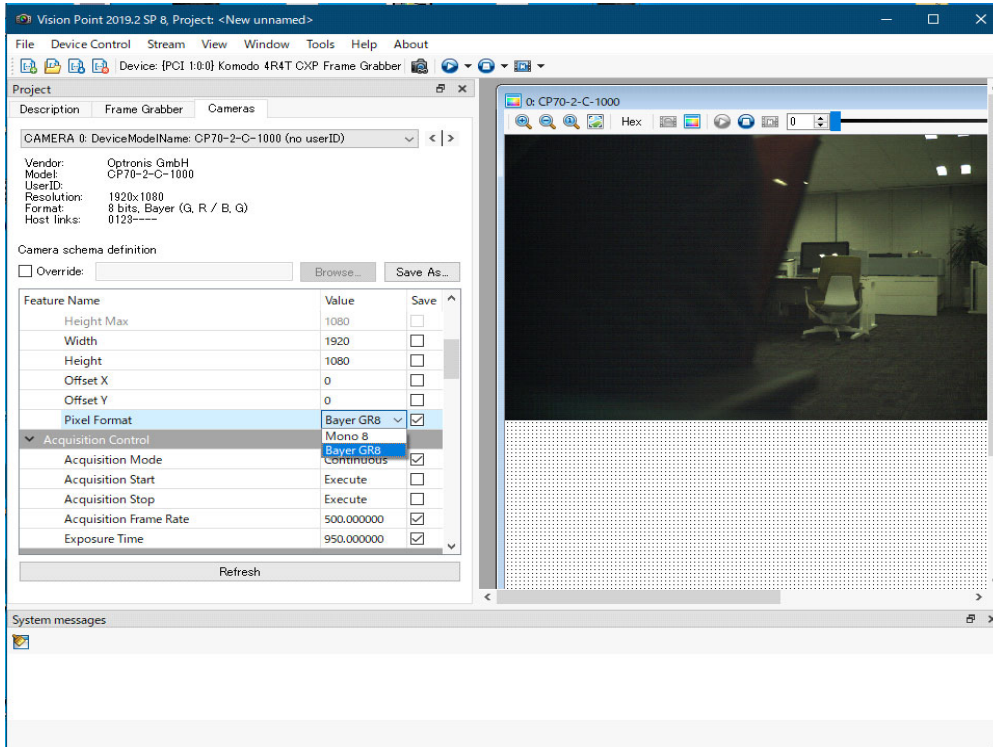
# Vision Point でカメラの 画像を見る

- Create new project を選びます。
- Grabber Control→Detect cameras を選択します。

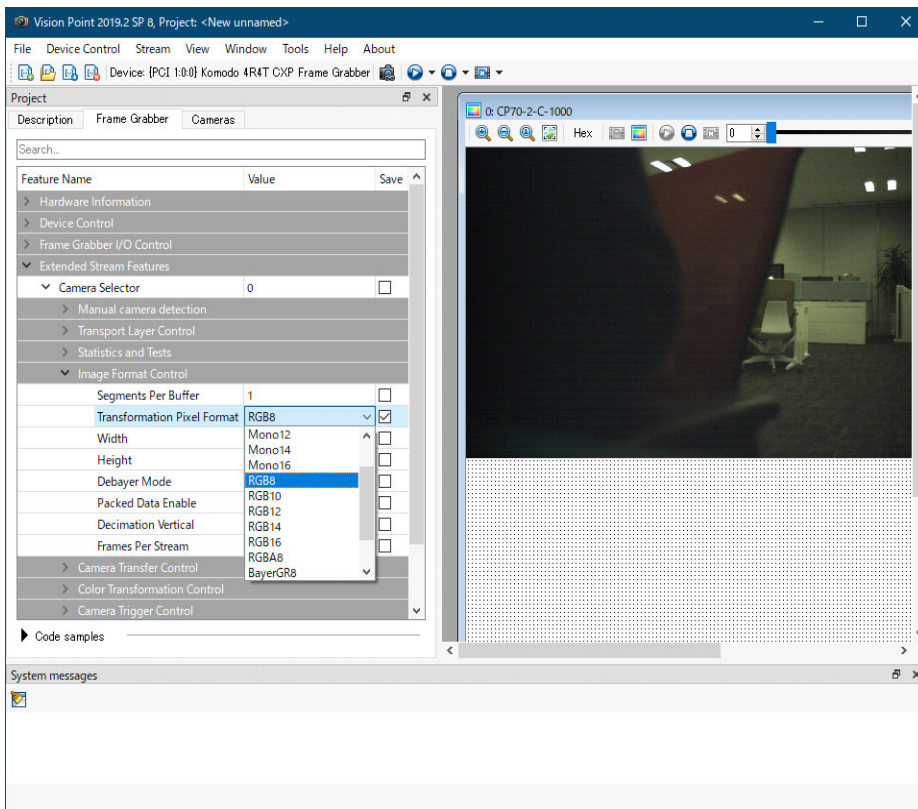


- PoCXP が ON になっているか確認します。ON になっていれば Optronis カメラの後端の 4 つの LED が オレンジ色に点滅 しています。PoCXP の右側にある再生のアイコンをクリックするとライブ画像が再生されます。カメラから画像が出力されている時は、LED は 黄色に常灯 します。(ソフトウェアのバージョンによって、PoCXP のアイコンがない場合があります。その場合、ソフトウェアで自動的に PoCXP を ON にします。)

- ・カメラのカラーフォーマットを設定します。

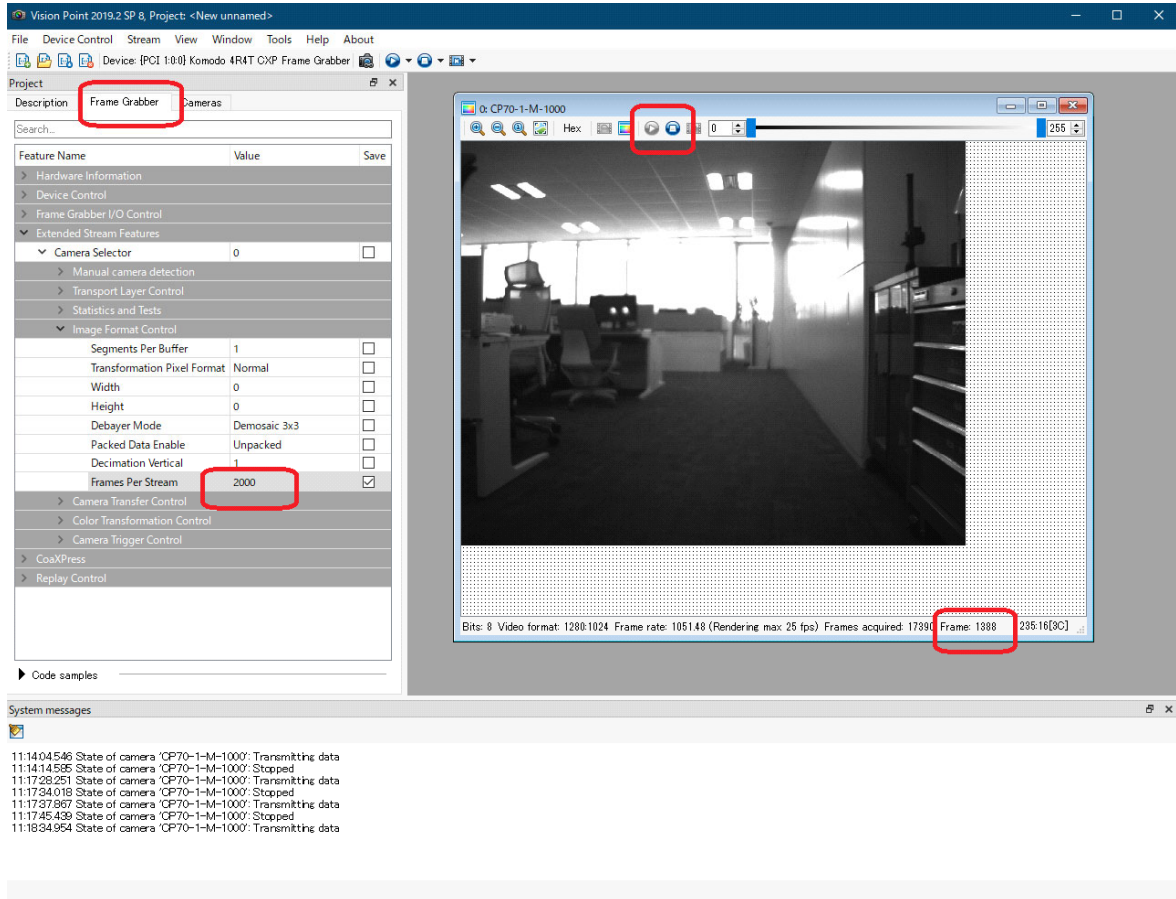


- ・フレームグラバボードのカラーフォーマットを設定します。



# メモリアコーディングを する

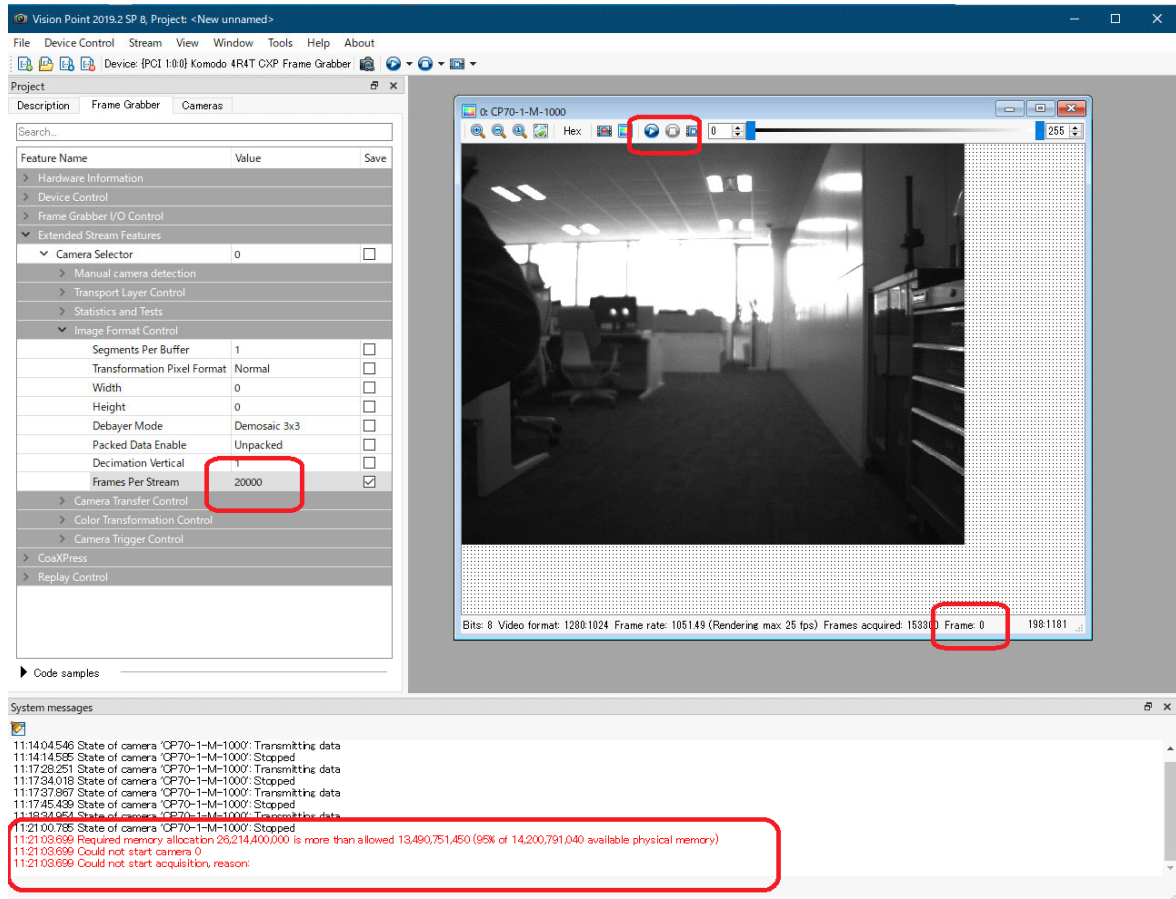
- メモリバッファに保存する枚数を決めます。  
ライブを停止し、カメラパラメータの設定（露光時間、ROI、フレームレート、ゲイン、カラーモノクロ）を設定します。Frame Grabber>Extended Stream Features>Camera Selector>Image Format Control>Frames Per Stream の部分でリングバッファの枚数を指定します。再びライブ表示すると、右下でバッファサイズが確認できます。





(注意)

Frame Per buffer の設定で確保可能な容量以上の設定をしライブ表示を開始すると、以下のようになりエラーになります。

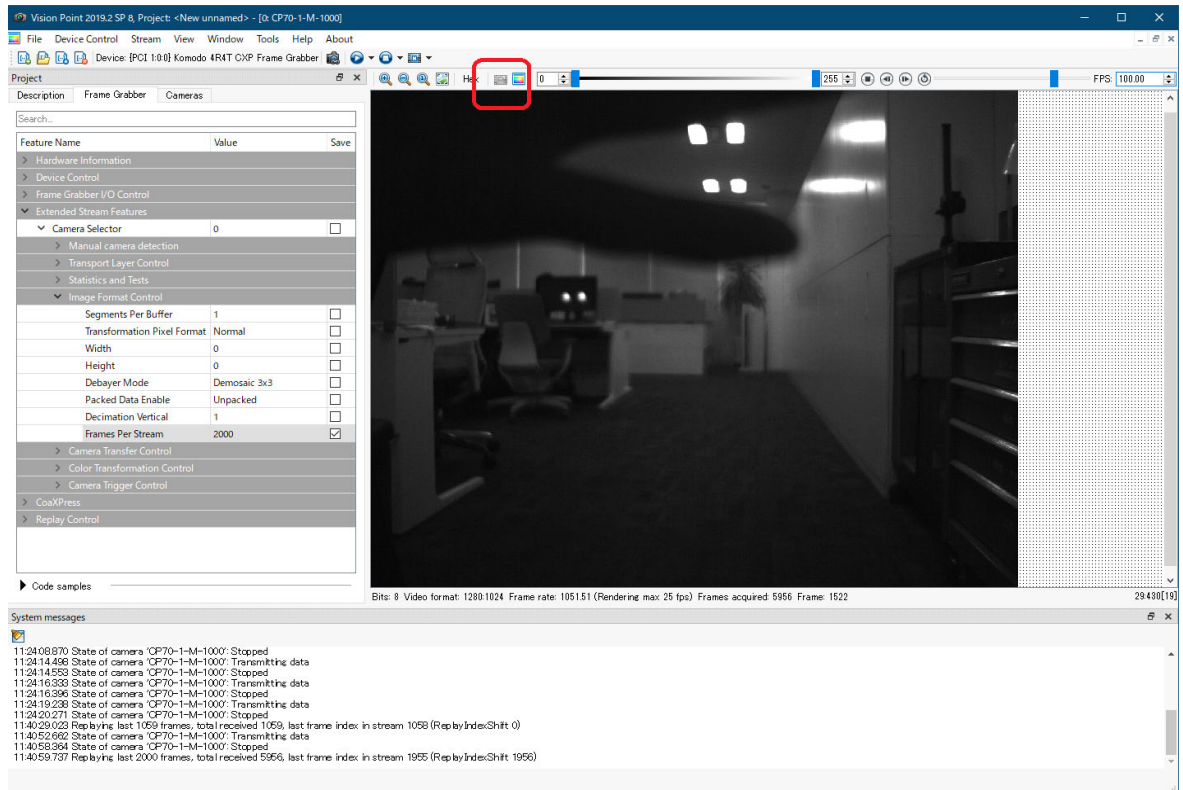


必要メモリ容量例)

1920×1080pxl、8bit モノクロ、1087fps、2 秒間メモリレコーディングの場合、計算式は  
 $1920 \times 1080 \times 8\text{bit} \times 1087\text{fps} \times 2\text{sec} = 4.51\text{GB}$  となります。

# スロー再生を見る

- バッファリプレイモードを使い、メモリに保存された高速画像を見ます。  
PC のメモリ領域に保存した高速動画をスロー再生することができます。動画をストップし、画面上部の switch to buffer reply mode のアイコンをクリックします。再生速度は画面右上の fps の部分で調整ができます。ここでスロー再生を確認することができます。



## 静止画・動画の保存

- 静止画や動画の保存は画面左上、Stream から行うことができます。動画の保存は事前にバッファプレイモードで確認しているものが avi 形式で保存されます。

